

かけはし

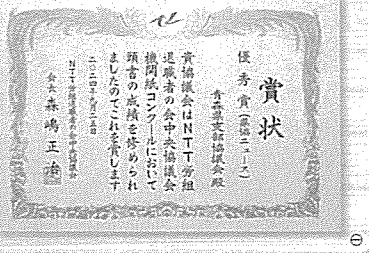
NTT 労組退職者の会
青森県支部協議会
青森市橋本2-1-6
TEL 017-777-8241
FAX 017-775-2882
発行責任者 高橋 壽

50年に感謝し、次の歴史へ

今年も元気に

皆様におかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生、甚大な被害をもたらしました。改めて、自然災害の恐ろしさと、「備え」に対する重要性を認識させられました。

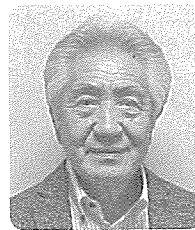


「かけはし」が優秀賞を
いただきました。
これから皆さんから
愛される機関紙つくり
に努めていきます。

この震災を受けて取り組んだ「被災者支援カンパ」や、もしもの時に備えた会員の「緊急連絡先の共済システムへの登録」、「お元氣通信」での近況報告、各地区協で企画されたレク活動への参加など、昨年一年間、退職者の会活動に参加・協力いただきありがとうございました。

そして、この活動を通して、退職者の会の充実、課題の前進に繋がっていくものと思います。

今年一年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご家族の皆様を含めましてご健康で幸多き年でありますように祈念申し上げます。



会長 高橋 壽

50周年記念

余技作品展

—開催期間 10月14日(火)~17日(金)—

- | | |
|--------|---|
| ■ 会 場 | NTT青森支店 橋本ビル1階 |
| ■ 応募資格 | 退職者の会会員、ご家族、
及びNTT・NTTグループ会社社員 |
| ■ 応募作品 | 油彩画・水彩画・水墨画・版画・切絵
書道・写真・彫刻・工芸・編物・その他 |
| ■ 応募方法 | 同封の「余技作品展 出品申込書」にて。 |
| ■ 申込期間 | 2月1日～7月31日 |

としとし
出品してネ!!

★詳細は、「出品申込書」に記載しておりますが、不明点等は、事務局にお問い合わせください。

吉川さおり



参議院議員
吉川 沙織

吉川さおり

二〇二五年、新たな年を迎えました。

二〇〇六年にＮＴＴを退職し、翌年七月の参院選で先輩の皆様をはじめ全国各地の仲間の皆様に参議院に送り出していただいて以降、本当に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

これから始まる通常国会は、今夏の参院選直前の国会となります。ＮＴＴ法の改正や、年金

制度を巡る法案審議も予定されています。社会保障と税の一体改革議論に中心的に携わってきた経験を活かす、持続可能な社会保障制度のあり方についてもしっかりと議論してまいります。

衆議院では与野党伯仲の議会構成が実現し、政治に緊張感が生まれました。次は参議院で与野党伯仲の議会構成に近づけることが、政治に緊張感とバランスをもたらし、闊達な議論が国会の場でできることにつながります。

初心と感謝の気持ち忘れること
となく、精一杯訴えてまいりま
すので、今後ともよろしくお願
いいたします。

(全文より、一部抜粋掲載しました)

謹賀新年

本年もよろしく
お願いします。



奈良です。

退職者の会の皆さん、
新年あけましておめでとう
ございます。



昨年は衆議院解散総選挙があり、皆さんには大変お世話になりました。お陰様で、1区升田世喜男（比例復活）、3区岡田華子両氏の当選を勝ち取ることができました。

今年は7月に参議院議員選挙があります。組織内議員「吉川さおり」の必勝と、選挙区候補の必勝に向け、組織の先頭に立って頑張ります。

今後も与野党伯仲とその先の政権交代をめざし更なる努力をいたしますので退職者の会の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

立憲民主党青森県連幹事長

青森市議会議員 奈良 祥 孝

顧問	會計監査	會計監査	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	事務局長次長	事務局次長	事務局次長	副会長	副会長	副会長	會長
高根 孝一	花田ヤツ子	杉木 善昭	須藤 正	石井 義昭	野坂 仁志	山崎 等	興村 俊治	二本柳召南	小泉久美子	藤田 豊	成田 雅雄	西村 昌平	高橋 順子	三浦 眞督	石田 隆志	田口 勝彦	畑崎 義則	松森 慎
青森	青森	青森	鯉ヶ沢 三戸	三戸	野辺地	三沢	黒石	むつ	十和田	五所川原	青森	青森	青森	青森	青森	弘 前	八 戸	青森

県支部協議会 役員



県協、地区協 総会模様

今回も皆さんお元気!!

青森の先輩の皆さん
こんにちは。

県協総会には
「吉川さおり」
参議院議員が激励に
駆け付けてくれ
ましたよ。



県支部協議会

県支部協議会	10月21日	青森県労働福祉会館
五所川原	10月29日	五所川原温泉ホテル
むつ	11月6日	まさかりプラザ
青森	11月8日	アップルパレス
三沢	11月8日	きざん三沢
鰺ヶ沢	11月9日	パル
三戸	11月12日	割烹白山
黒石	11月13日	魚清会館
弘前	11月14日	弘前パークホテル
野辺地	11月18日	割烹海幸
八戸	11月19日	ハ芦グランドホテル
十和田	11月28日	サンロイヤル十和田



三沢



弘前



五所川原



三戸



野辺地



青森



八戸



むつ



十和田

※写真が撮れなかった地区協、ゴメンなさい。

第1回
拡大幹事会

県協・地区協一体となって

年間活動の具体化意思統一

12月3日、新年度第一回拡大幹事会が開催され、県支部協、及び地区協の定期総会報告、新年度の年間活動の具体化、等について意思統一を行いました。

年間活動の具体化については、1. 会員との親睦交流・繋がりを深める取り組みとして、昨年度に引き続き、①各地区協において、レク等の交流の場を創意工夫して企画実践するとともに情報労連やグループ連絡会等々が企画する行事へ参加呼びかけを行う等、会員が参加・交流する機会の拡大を意識して対応する。②県支部協は「ニュース」が「かけはし」を通して、在宅中心の生活となっている会員も、会の



吉川さおり全国対話活動（昨年11月22日、青森市会場）

活動が見え、自らも投稿等により参画できるような取り組みを推進する。③单身高齢者の孤立対策や会員との寄り添い・繋がりを深める取り組みは、ハガキによる「お元気通信」、お元気コール、7月発行「ニュース」の手配り、「ありがと」該当者への電話入れ、等々の対応を通して充実を図る。

2. 地区協組織の統廃合の取り組みは、昨年度の各地区協総会での確認に基づき、三戸地区協と八戸地区協の統合について取り組みを進めていく。具体的には、両地区協・県支部協の合同会議等において、統合後の役員体制・活動内容、解散時における処理等について協議しながら今年秋の総会で実施できるよう取り組む。

3. 政治活動については、最重要点として「吉川さおり」組織内参議院議員の四選を位置づけ、名前の浸透、支持者・紹介者の拡大等について、対面活動を通して強化していく。

4. 青森県支部協議会結成50周年記念行事については、二〇二五年一〇月の第27回定期総会を中心とする期間の中で実施することとし、実行委員会を発足し具体化を図る。

等の内容で意思統一が図られました。

記念行事

- ・ 記念祝賀会の開催
- ・ 記念誌の発行
- ・ 余技作品展の開催
- ・ ホームページの開設

引き続き、「第一回50周年記念行事実行委員会」を開催。

第一回実行委員会を開催

①実行委員会役員体制、②実施行事、③予算構成、等について確認し、5月に第二回実行委員会を開催することになりました。

お元気通信 あなたの声お寄せください。
～ご意見、私の近況、趣味、出来事、知恵袋、川柳、etc～

前月号「かけはし」の続き。

※（ ）の地区協名の後の月日はハガキの県協到着日

8月7日～9日、長崎の平和フォーラム（戦争は絶対にしてはいけない）に、デザイン・作品を応募、全国から集まった仲間と平和の思いを伝えることができ、長崎県の現地実行委員長・井手教博様から感謝・御礼のお手紙を頂いた。世界の恒久平和の実現に向け一層後世に語り継ぎたいですね。

今泉 敏雄（青森地区協 10/1着）

昨年は入院・手術の一年でしたが、今年は今のところ元気です。
たまに、日本海・湾内に釣りしてます。

蝦名 高夫（青森地区協 7/6着）

私の近況

私が体調をくずし入院した為、長男が青森市に転勤してくれた結果、同居しております。お陰様で安心の毎日です。

三上 静子（青森地区協 7/3着）

お知らせ

今年も「お元気通信」のハガキを同封しました。

このハガキの有効期限は、2026年1月末までとなっていますので、昨年同封したハガキを含めて来年1月末までにご活用ください。

なお、残念ながら「ニュース」に掲載して、ダメ」と記入されている方も結構多くあります。ペンネームでの掲載もOKですので、できるだけ掲載できるようにお願いします。

「元気」の声、今年も待ってるよ～。

会員、ご家族の皆さんへ **おねがい**

017-777-8241 には 応答してね。

この電話番号は、「退職者の会」からの発信です。
緊急時の安否確認や共済手続きなど、ご連絡を取りたい時にお掛けします。安心して、応答していただきますようお願いいたします。

ビシビシと 奮闘！この人 厳しい(?)監査します。

第三回県支部協議会定期総会で事務局次長、そして会計監査と長い間事務局に従事されてきました三上初枝さんの後を受け、会計監査を引き受けることになり、早や一年が過ぎました。



23年度決算監査中の花田監査（左）と杉木監査

年一回の監査も杉木さんや事務局の方々のご指導を受け、財務状況などを学ぶことができました。

退職者の会も会員数の減少や高齢化が進んでいますが、まだまだ元気で各方面で活躍し、日々の生活を楽しくしている方々を県支部協議会「ニュース」が「かけはし」で紹介され、又、懐かしい人々の声を聞くこともでき嬉しく思っております。

退職者の会が、一人ひとりの拠りどころとなり、元気に活動できる場であってほしいと思います。

これからも、小さな目を大きく開き、ビシビシと厳しい(?)監査をしていきたいと思います。

頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

会計監査 花田ヤツエ



六月二七・二八日、東京両国第一ホテルで全国から一〇八名が参加し、「全国交流集会」が開催され、青森から県支部協の高橋事務局次長と二名で参加した。

中央協・森嶋会長、来賓あいさつに続き、川辺事務局長から「退職者の会の概要と当面の課題」について説明があった。

特別講演では、中北中央大学法学部教授より「日本政治の現在と野党の役割」と題した講演を受け、その後、夕食会（懇親会）で一日目を終了した。

二日目は、六つの分科会に分かれて「会と会員のコミュニケーション」の充実をテーマに、各支部協より討議テーマ①会員の交流、②シエンダー平等の取り組み、③会員数の減少・高

「全国交流集会」報告

事務局次長 西村 昌平

2024年6月27～28日

第35回「情報労連・長崎平和フォーラム」に参加して

“悪魔の兵器”廃絶へ

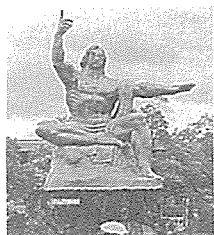
広島・長崎に原爆が投下されて79年、「情報労連・長崎平和フォーラム」へ退職者の会の代表で、8月7日～9日で参加、『被爆者体験談、原爆資料館・遺構見学』と結構ハードな日程でした。原爆の悲惨さは、報道番組・資料などで一応知識はあったが、原爆資料館・遺構見学での「悲惨な状況写真」や高熱で原型が判別不能な日用品など、原子爆弾は「人間が作った悪魔の兵器」と知らされました。



【長崎原爆】

フォーラム初日は被爆者の体験談、「原爆資料館の見学」。二日目はバス移動しての「遺構巡り」や被爆二世の方達の活動報告・戦争体験記、連合主催の「2024平和ナガサキ集会」。三日目は『被爆後79年電気通信労働者原爆被爆死没者慰霊式』に参列し原爆が爆発した時刻「11時02分」黙祷を捧げ、献花して長崎平和フォーラムが終わりました。

今年は、広島・長崎に原爆が投下されて、80年目となりますが、世界では「核兵器廃絶」への動きも鈍く、核保有大国「ロシア」はウクライナに対し「核兵器」の配備・使用で脅している状況です。被爆者は、現在も後遺症で苦しんでいる方や被爆二世・三世の方も「原爆症」発症に不安を感じる方も居られます。



【長崎平和公園】

原爆が投下され節目の80年目（令和7年）。世界の核爆弾保有国が、「悪魔の核兵器」廃絶に向け、「動かない硬い歯車」を回してほしいと思います。

最後に今回の「長崎平和フォーラム」に参加し改めて戦争の悲惨さや平和の尊さを感じました。

青森地区協議会 会長 松森 慎

こんなときは、一報を!!

災害発生時の安否

施設などへの入所

会員・配偶者の死亡

電通共済請求

火災共済 自然災害共済
交通災害共済 生命共済

住所変更等

法律相談

NTT労組退職者の会青森県支部協議会

ヨイローゴ オフロー

0120-4165-09

ポイント!

※受付時間:月～金曜日 10:00～15:00

「こんなときは、一報を!!」については、ご家族(別居の子供さん等)にもお知らせしておいてください。会員で本人が連絡できない時など、大変役立ちます。

謹んで
お悔やみ
申し上げます

青森		安西 敏浩 (10月13日)
久保 さと (10月1日)		後藤 久枝 (7月25日)
斎藤 京七 (4月)		塩谷 達雄 (4月6日)
神 市雄 (10月12日)		龍澤 正行 (12月10日)
三浦 正二 (10月13日)		三浦 紀子 (10月25日)
三浦 政男 (9月21日)		宮原 信元 (10月6日)
八戸		大坪 セツ (10月25日)
田代 勝美 (12月12日)		松橋 成子 (12月21日)
弘前		井澤 フサ (2月23日)
田中 節 (11月30日)		十和田
高森 慎一 (12月3日)		むつ
夏井 隆 (11月21日)		松尾 幸 (11月12日)

※敬称略

昨年10月以降に、県協に訃報連絡があった会員の皆様です。



元日も、昨日の次の日にすぎないが、やはりいつもの単なる「次の日」とは違って迎えさせてくれる。そして、昨日・昨年の続きなのに、何故かしら「心新たに」と思い巡らす。区切りや節目を意識して生活を営んできた人間の心が持ち得る感覚なのだろうと思うと大事にしたい。

先ずは、「今年は災いのない平穩な一年でありますように」と祈る▼さて、県支部協議会結成50周年の節目の年を迎えた。結成時会員は五六名。以来、会員の拡大とともに、親睦・互助を中心とする会の目的前進に向けより身近な活動拠点の結成を追求し、一九八六年・一九九一年に掛けて、現在の11地区協議会を順次結成したと記されている▼幾多の課題・闘いをみんなどの力で乗り越え、作り上げてきたこの「素晴らしい財産」。少し位は進化させて、次の世代へ引き継がなければと決意新たにす▼記念行事の「余技作品展」、多くの出品で「良き作品展」になるよう大いに盛り上げて頂きたい。二〇年程前に橋本ビルで開催の余技作品展を拝見した。どれもがビックリの素晴らしいもので、もはや「余技に非ず」と感動した。今秋の私達の作品展、現職の皆さんにどう感じて頂けるかも楽しみ。感動したら退職後に入会願望!▼今年は巳年。どんな年になるだろう。ヘビのような「しなやかさ」も重要な年か。私も男。今年の抱負は「今日も、しなやかに」(詩)